2024 年度 学校評価（自己評価）

学校法人C2C Global Education Japan
山梨学院幼稚園

1．本園の教育理念

「子どもを人として尊ぶ」
「生活の中で育てる」

2．評価項目の達成及び取り組み状況

◎	十分に達成されている
○	達成されている
△	一部課題がある
－	多くの課題がある

評価項目	評価	取り組み状況
教育理念の理解	◎	・教職員研修等様々な機会をいかして教職員間で教育理念を確認し、共通理解を　　図っている。理念に基づいた実践のための、理念をより具体化した「合言葉」も教職員間で複数共有している。 ・教育理念の理解とそれに基づいた保育の実践については、100％の教職員が「非常に良い」または「良好」と自己評価していた。
保育計画	◎	・国際バカロレア認定校として、子どもたちの主体的で協働的な探究活動が 3 年間を通して展開されるよう教育課程を編成している。 ・年間を通して年齢に適した表現活動（絵・工作・歌・音感教室・劇遊び等）の充実も図られるよう計画している。 ・多文化教育に関わる活動も計画し、積極的に取り組んでいる。計画になかったものにも柔軟に対応し、活動の充実にいかしている。 ・体力向上にむけ、スイミング、スポーツデー、日頃の運動遊び、食育等も年間を通して計画し、積極的に取り組んでいる。 ・計画は、学年リーダーや担当リーダーを中心に、複数の教員で話し合いながら作成している。
保育実践、幼児への対応	◎	・教職員は、教育理念の実現に向け日々努力している。自己評価のなかの「教育理念・教育方針（受容共感応答モデルなど）に基づいて保育している」の項目について、100％の教職員が「非常に良い」または「良好」と評価していた。 ・保護者アンケートにおいても、「子どもたちを愛情深く大切にした保育がなされていた」「生活のなかで子どもたちから生まれてくる遊び（＝学び）を保育者が応援する、のびのびとした保育がなされていた」等の設問に対して、「とても思う」「思う」という回答が 100％であった。 ・国際バカロレア認定校としても、子ども主体の遊びを通した探究活動を展開し、常に改善に取り組んでいる。
環境構成(衛生・安全管理)	○	・子どもたちが安全に生活できるよう、遊具や建物の安全点検は、業者に依頼するもの、教職員が日々するものに分類し実施している。 ・朝と夕の清掃、消毒等、安全衛生管理を徹底している。

		・薬品や避難バック等は、定期的に確認を行い、常備している。 ・体調不良の子どもが休める空間を確保している。 ・園の施設（温水プール、ライブラリー、アルテア子ども館等）はもとより、山梨学院の教育資源（施設・人的資源等）も有効活用できるよう工夫している。 ・保育室は、子どもたちの興味、関心にそった教材・教具が整うよう意識している。
保育者としての良識、義務等	○	・守秘義務の遵守が徹底されるよう、定期的にその確認を文書や会議で行っている。 ・園児のモデルとなる行動がとれるよう、教職員で心がけている。 ・園児の特性や発達状況に応じた関わりができるよう、必要に応じて専門機関と連携し助言を得られる体制を整えている。 ・苦情や意見を真摯に受け止め、解決に向けた対応について会議等で検討し共有している。 ・「1 人でみんなを、みんなで一人を」を合言葉にチームワークを大切にした保育を全教職員で心がけている。 ・全教職員が毎年度、目標管理評価シートを作成し、1 年間の自己課題と本園の教員として求められる姿について振り返っている。
保護者対応・保護者連携	○	・園行事・保育参観・保育参加（ダイナミックワールド、親子園外探究活動）の機会や、「ブログ」「インスタグラム」による日々の発信を通して、園の教育理念や方針、子どもたちの興味、関心の対象、活動の様子、育ちについて、保護者の理解が得られるよう努めている。 ・子どもたちが夢中になっている探究活動について、保護者にタイムリーに発信することで、保護者からの力強い応援、協力が得られ、保護者との連携のもと、探究活動の充実が図られている。 ・「探究の軌跡」と「からだのそだち記録カード」を通して、個別の育ちについて保護者と共通理解を図ること、わかりやすくあたたかな記録を届けられるよう努めている。 ・「個別面談」「電話」を通して、子どもの様子について適切なタイミング、方法で保護者と共有するよう努めている。 ・保護者からの相談、依頼等について、誠実な対応を心がけている。 ・園と保護者の会との連携が適切に図られるよう努めている。 ・安全な送迎が園と家庭との連携のもと、なされている。送迎時に危険を感じた場合は、速やかに保護者と共有し、敏速な注意喚起を行っている。
食育の充実	◎	・安全・安心でおいしい給食提供（個別のアレルギー対応を含む）に努めている。 ・管理栄養士、栄養教諭による食育実践を行っている。 ・子どもたちが栽培した野菜（ジャガイモ・サツマイモ・長禅寺菜等）を給食に取り入れた。
子育て支援	◎	・子育て支援センターの施設にて、家庭的な雰囲気と教育的な環境を大切にした預かり保育を実施している。 ・「地域子育て支援拠点事業」として、「子育てサークル」「子育てサロ

		ン」「母親クラブ（Mommy Room）」「赤ちゃんデー」「施設開放・地域交流事業（親子体験講座）」「YGK ランチデー」「子育て相談」「子育て情報発信・連携事業」などを行っている。
研修（資質向上の取り組み）	○	・「教育理念」理解のための教職員研修の実施 ・新任教員 IB 教員資格取得のためのワークショップの実施 ・IB 教員資格取得者スキルアップのためのワークショップの実施 ・IB 認定訪問に向け幼小合同研修会の実施 ・「子どもの権利条約について」研修会の実施 ・「包括的性教育」についての研修会の実施 ・救命救急講習および消防訓練の実施 ・「情報セキュリティー」研修の実施 ・教職員各自の目標に対応した研修への参加